

# 高 岐 高 校 だ じ ゃ ん

第152号

令和5年7月12日  
 岐阜県立岐阜高等学校  
 PTA会長 後藤栄一郎  
 印刷/ヨツハシ(株)  
 題字/筑間 敏博

## CONTENTS

● テーマを決めて学習に取り組もう	進路指導部…………… p1
● 第一回学校運営協議会 報告	教 頭…………… p2
● 充実した夏季休業のために	生徒指導部…………… p3
● 教育相談室より	生徒指導部…………… p3
● 令和5年度PTA総会のご報告	PTA副会長…………… p4
● 東海地区高等学校PTA連合会 岐阜大会に参加して	PTA会長…………… p4
● GRIT~やりぬく力~	3年次委員長…………… p4
● 自分で決断する力	1年次委員長…………… p5
● 新時代を生きる	1年次副委員長…………… p5
● やはり、最後は「人」	2年次委員長…………… p5
● 一度きりの高校生活	2年次副委員長…………… p5
● 遠足	1~3年次…………… p6
● 林間学舎活動について	1年次会…………… p6
● 創立150周年記念野球大会	硬式野球部…………… p7
● 前期生徒会発足	生徒会長…………… p7
● 全国大会出場	囲碁将棋部…………… p7
● 部活動だより	特別活動部…………… p8



▲創立150周年記念野球大会応援の様子



▲陸上部・東海大会出場

### テーマを決めて学習に取り組もう 進路指導部

#### 1年次生のみなさんへ

年次が変わり新たな気持ちでスタートしてから早くも3か月が経ち、夏休みを迎えようとしています。この3か月、みなさんは充実した高校生活を送ることができましたか？今年、新型コロナウイルス感染症による行動制限がほとんどなくなつて、様々な活動に積極的に取り組む姿が多く見られました。学習面ではいかがでしたか？本日は、少し理解できていないところがあつて、しっかり復習したいけど十分に取組めなかつた、発展的な学習に取り組むたいと思つても、部活動や翌日の予習や小テストの勉強のためにできなかったなど、自分の思い通りにはならなかつたというところがだれにでもあるのではないのでしょうか。

夏休みは、まとまった時間を自分の考えで自分のために使える貴重な5週間です。この3か月の振り返りをもとに、理解が不足している内容の復習を行つたり、興味のある発展的な内容に果敢に取り組んだり、じっくり深く考えたり、完璧に覚えたり、理解できるまで徹底的に追究したり、この3か月間でできなかったこと、やり残したことを取り戻すには絶好の機会です。この夏休みに何に取り組むか、自分自身でテーマを決めて学習に取り組みましょう。学習以外においても、部活動に励んだり、興味関心のある分野を探究したりする日々を過ごして、学習面、知識面、体力面で大きく成長できる夏休みにしてください。学校が再開する8月末には、みなさんがさらに成長して新たな良いスタートを迎えることができることを期待しています。

岐阜高校へ入学して初めての夏休みを迎えますが、この3か月で中学生から岐高生に成長できたでしょうか。4月当初は、隣に座っている仲間がどんな人かわからず、だれもがものすごく賢い人ばかりに見えたかもしれません。テストの成績に一喜一憂することもあつたでしょう。しかし、学習について今の時点で他人と比較することに価値はありません。大切なことは、自分の理解度を上げることです。夏休みは、各教科から多くの課題が出されています。その課題にどのように取り組むかが非常に重要です。課題に取り組みながら、自分の理解が不足している部分を認識し、それを克服できるように努めましょう。さらに、余裕がある人は、もっと深く掘り下げた学習にも取り組んでみましょう。自分にできる一杯のことを実践して大きく飛躍する夏休みにしてください。一方で、社会の新型コロナウイルス感染症対策による行動制限はほぼ解除されました。ジョイントセミナーat東大も4年ぶりの現地開催となります。また、ほとんどの大学で実際に訪問する形のオープンキャンパスが計画されています。大学によっては、オンライン形式との併用の場合もあります。それぞれの良さを認識し、積極的に参加して、将来のことをよく考える機会としてください。将来、自分がここで学びたいと思える場所を見つけましょう。また、FPITで取り組んでいる講義動画の一つでも多く視聴して知識を深めるとともに、卒業後自分が学びたい分野について考えてください。

2年次生のみなさんへ

3年次生の先輩が部活動を引退し、2年次生のみなさんが学校の中核となって活動することが多くなりました。また、学校行事もみなさんの手でコロナ前にはなかった新しい形の行事がつけられるようになってきました。みなさんが主体的に行動することの意義を学んでいることと思います。この夏休みも部活動や生徒会活動、岐阜祭の準備、学習に主体的に、積極的に取り組んでほしいと思います。学習面においては、この夏休みが高校生活のまさに折り返し地点です。大学入試を視野に入れ、磨きをかなければいけない教科の発展的な学習や、苦手意識のある教科の基礎基本を補強するのに、この夏休みはまとまった時間が取れる数少ない機会であることを認識して過ごしてください。特に、英語・数学・国語の3教科を中心に学習を進めてほしいと考えています。また、オープンキャンパスや校外で実施される各種研究会、体験講座などに参加して、いろいろな実績を増やしてほしいと願います。そこで学んだことや経験したことを、「活動の記録」の用紙にぜひ残してください。

ところで、FPTの探究活動は順調に進んでいるでしょうか。4月から、少しずつ研究テーマを設定し、研究計画書を作成してきましたね。これから、その計画を実行していきます。夏休みは、みなさんが考えた「答えのない問い」に対して、「答え」にたどりつくきっかけを見つかる時間です。簡単には答えが見つからないと思います。だからこそみなさんが大きく成長できるのです。夏休みを十分に活用して、積極的に探究活動に取り組んでください。常に意欲的に時間を使い、充実した夏休みを過ごし、大きく成長することを期待しています。

3年次生のみなさんへ

ほとんどの生徒が部活動を引退して勉強中心の学習スタイルに変わり、毎日を過ごしていることと思います。時間を上手く利用して学習できていますか。3年次に入ってから、全員で受験した2回の模試では、「受験生自己分析シート」を作成し、目標を決め、その振り返りを実践してきました。この取り組みで重要なことは、自分の弱みに気付くこと、そして、それを克服するために何をしたらよいか、自分自身で考え取り組むことです。人から指示された学習に取り組む時期は過ぎ去っています。みなさんはもう(または、あと少しで)立派な成人です。この夏休みには、振り返りを元に、自分で何をすべきかテーマを決めて学習に取り組んでください。さらに、夏休みに学習を進めれば進めるほど、問題に取り組み取り組むほど分からないことがたくさんあることに気付く、できないことがたくさんあることに気付くものです。しかし、その気付きは大変重要です。気付いたからこそ次に進めるのです。自分自身と向き合い、自分自身を磨き上げていきましょう。その結果、受験勉強を通してみなさんは大きく成長します。実際に多くの先輩たちは、3年次の受験期を経験して成長した姿を見せてくれました。最後に、年次集会でお伝えしたことをもう一度、「可能性は無限大、弱気は最大の敵」です。夏休みには多くの模試を受験しますが、その結果に一喜一憂することなく、目標に向かって徹底的に学習に取り組んでください。



第一回学校運営協議会

報告

教頭 渡部 彰規

学校運営協議会は、「地域の住民」「生徒の保護者」に該当する方々に加わっていただき、学校運営に関して保護者や地域住民の理解を深められるよう、ご意見を伺うために年三回開催する予定です。今年度の第一回を六月六日(火)に実施しました。

【学校運営協議会委員】

- 西津 貴久(会長) 岐阜大学 教授
- 安田 洋一郎(副会長) 本郷自治会副会長
- 伊在井みどり 安江病院 病院長
- 高木 敏彦 岐阜県教育文化財団理事長
- 中村こず枝 岐阜市健康部長兼保健所長
- 萩野 順子 P T A 会員

【学校側出席者】

- 石田 達也 校長
- 寺倉 新一 事務部長
- 笠原 常豊 教頭
- 渡部 彰規 教頭
- 杉山 秀謙 教務部長
- 黒井 昌和 進路指導部長
- 北川 英治 生徒指導部長

【会議の概要】(詳細はHPに掲載)

- (一) 学校運営協議会委員の委嘱
- (二) 校長挨拶
- (三) 会長・副会長の選出
- (四) 令和五年度教育指導の重点及び学校経営計画について(各分掌の説明)

(五) 委員からの意見・提言  
(六) まとめ

【意見①】提言の内容(一部)

↓1年次の探究活動が大学進学につながるような指導をしているのか。  
↓1年次の探究活動で職業・学問について研究することは、大学進学に直結している。  
最近では大学が高校生の探究活動発表の場を設けている。探究活動で興味をもったことが、本人の進路決定に何らかの影響を与えている。

↓ヘルメットの着用率について、  
ヘルメットの着用率は、1年次生40%、2年次生14%、3年次生7%で全体では22%である。1年次生の入学時に着用する生徒が増えるようしっかりと呼び掛けて、全体での着用率を高めていきたい。

【意見③】推薦入試で合格の鍵になるのは、学力なのか、部活動等の活動なのか。  
↓大学がどのような人物を求めているのかというアドミッション・ポリシーを理解していることと自分が何を学びたいのかということがしっかりと把握していることが重要である。その学びたいことのために高校で活動してきた実績が評価されている。

【まとめ】

各委員から多くのご意見をいただきました。今年度の学校運営基本方針は承認されました。

## 充実した夏季休業のために

生徒指導部

新型コロナウイルス感染症が五類に移

行し、日常生活もかつてのようになりズムに戻ってきました。昨年度から、学校や地域のさまざまな行事も復活し、より充実した夏季休業が期待できるのではないのでしょうか。生徒の皆さんには、体調に十分留意し、自分の将来を見据え、それぞれ充実した夏季休業を過ごしていただきたいと思えます。3年次生にとっては「勝負の夏」になります。1・2年次生の皆さんは、弱点克服、より深い学習の追求など、それぞれに合った学習計画を立てることが可能です。夏季課題をこなすだけでなく、部活動、林間学舎、各大学のオープンキャンパスなど、さまざまな活動に取り組み、学習以外のさまざまな経験を積み、一回り大きく成長してもらいたいものです。

生徒の皆さんが有意義な夏季休業を過ごすために、以下の点に注意してください。

- ① 交差点では一時停止。
- ② 道路左側を走行。
- ③ 歩道では、歩行者が最優先。
- ④ 並走しない。
- ⑤ スピードを出しすぎない。
- ⑥ ヘルメットを着用しよう。

### (2) 水難事故に注意しよう。

河川・海・プール等、自分の体力を過信せず、安全優先の行動を取り、水難事故を起こさないように、最大限注意しましょう。

(3) 規則正しい健康的な生活を送ろう。

充実した夏休みにするためには、安定した生活リズムが不可欠です。生活リズムを崩さず、普段の学校生活通りの規則正しい生活を送りたいものです。また、家庭では普段できないお手伝いなどを積極的にを行い、家族との会話や絆を深めよう。

(4) 情報モラルやマナーを厳守し、他者も自分も傷つけないようしよう。

SNSなどに個人情報や他人への誹謗中傷などを書き込んだり、写真の無断掲載や転用は絶対に行ってはいけません。好奇心に任せて、「出会い系サイト」等のコミュニティサイトやSNSで見知らぬ人と交流したり、会ったりするのは後々大きな問題になります。

岐阜生としての自覚を持ちつつ、自らを律し、善悪を正しく判断して、責任ある行動をしましょう。

(5) 心身の健康に留意しよう。

部活動などの活動においては、熱中症等にならないよう体調管理には十分気を付けてほしいものです。また、スマホやゲーム、YouTubeの長時間利用にも注意をしましょう。

長期休業は、心身のリフレッシュをする上で大変有効な期間です。悩みがある時は、周囲にいる保護者、教員、友人などに相談しましょう。保護者の方々も何かあればすぐに学校へ連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 教育相談室より



生徒の皆さんへ

もうすぐ夏休み。今年の夏をどう過ごすかと考えていますか。3年次生にとっては進路希望を実現するための大切な時間ですね。自分なりの気分転換法を見つけ、オンとオフをうまく切り替えながら、この夏を有意義なものにしてください。また、1・2年次生の皆さんにとっては、忙しい生活から解放され、普段できないことに挑戦できる時です。学習をして実力アップを目指すことは勿論ですが、読書をしたり、進路について周りの人と話したり、いろいろな体験をしてみてください。8月23日に元気な姿で登校してくれるのを待っています。

保護者の皆さまへ

夏休みは、親子でゆったりと話をする絶好の機会でもあります。お子様の話にじっくりと耳を傾け、お子様の気持ちに寄り添い、一緒に考えていく時間を持つていただけるとよいのではないかと思います。

今回は、『子どもが育つ魔法の言葉』(ドローシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著)より、子育てに関するあなたがい言葉を紹介いたします。高校生に対して今更という思いもありますが、今一度、子育ての原点、初心に戻ってかみしめてみたい言葉です。ご家庭が心癒せる場になり、未来へのエネルギーを充電する場になるといいですね。

## 『子は親の鏡』

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる。励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる。広い心で接すれば、キレる子にはならない。誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ。愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ。認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる。見つけてあげれば、子どもは、頑張り屋になる。和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる。

高校生活の間には、物事がうまくいかず苦しい時期もあるかもしれませんが。そんな時こそ子育ての原点に立ち返り、親が子どもの考えや行動を先回りして指示を出すのではなく、お子様の話をじっくり聞いて子ども自身の問題解決能力を育てるよう心掛けましょう。

## 事故や困った時の連絡先

### ★事故・事件等

最寄りの警察署生活安全課へ  
(緊急時には110番)

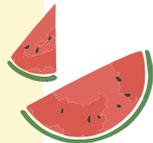
### ★いじめ・悩み・困りごと(学習・進路)

などについての相談

子供SOS24

TEL 0120-0-78310

(夜間・休日・祝日全24時間体制)



# 令和5年度PTA総会のご報告

PTA副会長 武藤玲央奈

本年度PTA副会長をしております武藤玲央奈と申します。日頃より皆様にはPTA活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ようやくコロナ禍も収束の兆しを見せた4月28日に、PTA総会が久しぶりに対面にて開催されました。一昨年は書面決議、昨年はオンライン開催で、我々役員も慣れない対面開催にドキドキしながら総会に臨みました。

当日は体育館に多数の保護者の皆様にお集まり頂き、順調に議事を進行することができました。円滑な議事進行へのご協力、誠にありがとうございました。

ご承認頂いた事業計画や予算に反映されております通り、コロナ禍の収束に伴い、今年度は各種行事もコロナ禍以前の状況に戻るものが多くなります。もともと、コロナ禍を機に内容の見直し等がなされたものについては、安易に元に戻すだけでなく、時流にあった運営方法も考えていくべきだと思います。幸か不幸か、我々役員も、コロナ禍前の運営を体験していませんので、そのことを強みに変えて、今の生徒、保護者、教職員の皆様に支持される運営方法を追求して参りたいと思います。

引き続き皆様から忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたく存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



各年次委員長・副委員長

服部 直樹 1年次委員長	香田 里美 2年次副委員長	近藤あつみ 2年次副委員長	村瀬 里佳 3年次副委員長	伏見 章 1年次副委員長	割田 優香 1年次副委員長
神田 政彦 2年次委員長	後藤栄一郎 会長	石田 達也 校長	澤田 大輔 3年次委員長	杉山 真希 3年次副委員長	



PTA本部役員

福井 大 会計監査	高野 綾子 会計	伊藤 知子 副会長	神田 秀仁 会計監査	館林 直子 会計監査
峰川久仁子 副会長	後藤栄一郎 会長	石田 達也 校長	武藤玲央奈 副会長	宮崎征一郎 副会長

東海地区高等学校PTA連合会  
岐阜大会に参加して

PTA会長 後藤栄一郎

6月16日、岐阜国際会議場にて開催された東海地区高等学校PTA連合会岐阜大会にて、準備から運営までお手伝い頂きました皆様、誠に有難うございました。4年ぶりの開催にも関わらず、600名を超す会員が東海4県から集まりました。講師を招いた勉強会はさることながら、単位PTAによる活動の研究発表は、質疑応答時間が足りなくなる、特に熱を帯びた雰囲気となりました。この時間で、明確になったことは次の3点です。

一、各単位PTAは、コロナ禍で大半の活動を中止するも、コアな活動は内容や運用方法を見直し、なんとか継続してきた。

二、各単位PTAは、活動の本質を見直し、生徒や学校にとって必要不可欠な内容を見極め、かつ会員の負担軽減を織り込んだ運用方法を見出す努力をしてきた。

三、多難な時期に、教育環境を進化すべく、先生方のひとかたならぬ努力や負担があった。

それぞれの立場で、努力、負担があった、各単位PTAが、前例に頼らない、新たな活動と運用方法を見つけようと挑戦している様に、逞しさを感じました。社会全体で、資源が足りないからこそ、誰かに任せっきりにしないという姿勢が大事だということを強く思わされた岐阜大会でした。

グリーツやりぬく力

3年次委員長 澤田大輔

3年次生にとって「受験の天王山」といわれる夏も目前となり、成績の伸びに対する焦りや、思い描いていた進路と現実とのギャップを感じている子どもが増えている時期ではないでしょうか。

「もう限界だ」という場面に直面することは誰もが経験することです。しかし、実際には、私たちが思っている以上に、自分で勝手に「無理だ」と思い込んでいる場合が多々あります。「機会が人を見捨てるよりも、人が機会を見捨てる方が多い」という格言もあります。もう少し粘り強く頑張れば目標に到達できるかもしれないのに、本人の自信が揺らいでしまっているときには、保護者として支えてあげることも必要なのかもしれません。

Parentの派生語であるParenting(子育て・親業)には「引き出す」という意味もあります。子どもの興味をうまく引き出し、希望を失わずに目標に向かって進んでいけるよう、子どもを導くための情報交換の場としてPTAが存在感を発揮できるよう努めたいと思います。

近時、GRIIT(やり抜く力)が人生で成功するために重要であるとよく言われます。「希望の岸」が遠くとも、心雄々しく「百折不撓・自強不息」でやり抜いていくのが伝統的な岐阜高生の姿です。子どもが持っているGRIITを信じて精一杯応援し、果報を待ちたいものです。

自分で決断する力

1年次委員長 服部直樹

「どうすればええんじや!!」と叫ぶ殿とそれを取り囲む家臣達……どこか見覚えのあるシーンですが、ほんの半年前、1年次生の皆さんも人生の大きな決断と挑戦をされました。入学から2ヶ月が過ぎ、高校生活にも慣れ、顔つきも少し穏やかになったように感じます。

さて冒頭のシーン、現代ですと、今流行りのチャットGPTなどに質問をするのでしょか。重要な決断であればあるほど、一人で悩むことは辛く苦しいものです。誰かの意見を聞きたいと思うことは至極当然ですが、『最後に決断するのは誰なのか』を、いつも意識してほしいと思っています。

生成AI技術は、今後大きく発展していくテクノロジーです。人々の暮らしを豊かにし、人材不足を補い、アイデア発想の手助けとなっていくことでしょう。職業や社会構造に大きな変化をもたらす可能性もあります。一方、その便利さの反面で、肖像権や著作権等との関係で課題が多く残っており、法整備が追い付いていないのが現状です。また、情報の正確性が保証されているとは限らないため、正確性を見極めと検索力を養うことが肝要です。

高校を卒業する頃には成人となり、自らの決断に『責任』が伴うこととなります。成人として、テクノロジーを上手に活用し、自分で決断し続ける能力が求められます。

今後、1年次生の皆さんも、文理選択をはじめとし、決断を迫られる場面が増えていくことと思います。高校生活の中で、悩みを相談し、一緒に考える仲間や先輩、恩師に出会い、そして『最後は自分で決断する力』を養ってほしいと願っています。

新時代を生きる

1年次副委員長 割田優香

子供達が新たな学び舎に身を置き、早くも2ヶ月が経ちました。期待に胸を膨らませ、一步一歩前進する姿を頼もしく思います。新型コロナウイルスの影響で多くの活動が制限された中学校生活。現在は以前の日常を取り戻しつつありません。皆さんの人と出会い、色々な体験を通じて見聞を広げてほしい。そして岐阜高校で過ごした時間が子供達にとつてかけがえのないものになることを願ってやみません。

一方で新しい環境には不安がつきものです。学業や進路、友人関係、部活動、様々な課題が子供達を待ち受けています。困難を乗り越えられよう、親として全力で支え続けていきたいと思います。

先生方には引き続きご指導、ご支援を頂きますよう、お願い申し上げます。

さて、今回の原稿執筆にあたり、昨今世間で話題になっていく生成AIのチャットGPTを使用しました。一部の文章はAIが生成したものを引用しており、その進化に驚かされました。

AIにより大きく変わり得る未来に向かって歩みを進めていく子供達。時に答えない問題にぶつかり、悩み、挫折することもあるかもしれません。本校の校訓である百折不撓の精神は、将来を生き抜く上で大切なものであり、失敗を恐れず挑戦できる人物になってほしいと願っています。

やはり、最後は「人」

2年次委員長 神田政彦

数年前から人工知能(AI)に関する話題を目にすることが増えてきました。昨年11月にチャットGPTが公開されたからAIが一気に身近になった感があります。

私も試しに使ってみました。回答は一般的なことや自分で少し調べればわかることが多く、個人的には若干物足りない印象を受けました。ただ、受け答えは人が書いたのか区別がつかないくらい自然ですし、人間との深い対話が可能なレベルに達する日も遠くないとも感じました。調べ物をするのにネットで検索することはもはや当たり前となりましたが、これからはAIに聞くことが普通になるでしょう。

ただしどんなに進化しようとAIは道具に過ぎません。回答の意味も理解していませんし、本当に正しいかどうかさえ判断していません。大切なことは、「人」がそのような便利な道具をどうやって使うのか、だと思っています。AIが出した回答は、自分が求めているものなのか、内容だけでなく倫理的にも正しいのかを判断する力が今以上に求められることでしょう。

社会は常に変化していますが、軸となる人間力は変わらないと思いますし、子供たちには「正解」だけでなく「正しい」と判断できる力を身につけてもらいたいと願っています。

一度きりの高校生活

2年次副委員長 近藤あつみ

思い起こせば中学3年生の夏「岐阜高校を志望する」と息子が突然言いました。驚くと同時に勉強を頑張る気になったのかと嬉しくも思ったのですが、夜遅くまでゲームをやり、朝はぎりぎりまで寝て学校に行く生活スタイルが続くため、こんな状態で受験に臨むのか、仮に合格できても高校生活に適応出来るのかと心配でした。

入学後、勉強習慣のない息子は高校生活に戸惑っている様子でした。やがて学業のみならず生活全体にも意欲を失っていききました。そんな時、偶然小学校時代の担任の先生にお会いしました。近況を問われた息子は「岐阜高校の人たちはやっぱりすごい、自分はダメです」と答えていました。親には話さなかった言葉を聞いて、初めて挫折感と劣等感を味わっているのだと気づかされました。一時間ほどの話の最後に先生は「自分なりに頑張ればよい」と励ましてくださり、息子は少し楽になった様でした。

岐阜高校には個性豊かな人、志の高い人、何事にも意欲的に取り組む人が多く在籍していると思います。

このような素晴らしい仲間と関わり、様々な事に興味を持ち、小さな失敗で自分の可能性を諦めることなく、今は何をしたいのか分からなくても自分の進む道を見つけてほしいと思います。一度きりの高校生活なのですから。

## リトルワールド最高！

私たち1年次生は先日リトルワールドに行ってきました。高校生活初めての遠足が近づくにつれ、学年の熱気が高まっていくのを強く感じていました。

バスを降りると眩しい日差しと青空が視界いっぱい広がりました。私はすぐにチャイナドレスを着ました。民族衣装を着て伝統的な家の中になると、漢族になったような気分になりました。また、家の中に飾られている鏡などの小道具や、入口に書かれている漢字などの再現度の高さを実感しました。それから、正面にあった台湾小館で小籠包を注文しました。柔らかくて中からコクのあつたスープが溢れてきてジュシーでした。その後、パーク内を歩き回っていると、友達とかくれんぼをした

## 1年2組 岩井くるみ

り、トルコアイスを食べたりするなどみんな各様な楽しみ方をしていました。仲間と共に普段はできないような特別な体験ができたことを幸せに思います。

今回の遠足で、高校生になったばかりでまだ距離があつた仲間と仲良くなる事ができました。リトルワールドのようにいろいろな事が凝縮された一日でした。



## 2年次生遠足

私たち2年次生は五月十六日に名古屋港水族館に行きました。とても良い天気でした。みんなそれぞれで計画を立て楽しみながら見学することができていました。

イルカやシャチ、ベルーガのショー、マイワシのトルネードなどは海なし県民の私たちにとってとても特別感のある体験でした。マイワシのトルネードは、季節に合わせたライトアップがされていて、とても幻想的で、魅力的でした。クラゲの水槽も見たことのないような種類が

## 2年2組 守山明衣・吉眞さくら

あつてとても興味深かったです。

また行き帰りのバスの時間も、私のクラスはランダムで席を決めましたが、みんなそれぞれ話したり、トランプをしたりして楽しい時間を過ごしていました。今回の遠足の目標であった、クラス内の親交を深めることができましたと思います。



## また京都行きたいです

### 3年2組 橋本征乃輔

3年次生は遠足で京都に行ってきました。移動に往復六時間かけて行くわけですから、各々が入念に計画を練って充実したものにしようとしていました。今年はおとうと葵祭が催されており、その見学で京都ならではの雰囲気味わう人もいれば、担任の先生の影響からラーメン巡りをする人もいました。私はラーメンを食べましたが、とても美味しかったです！また、清水寺はいつ見ても感動しますが、京都は何度も訪れています。何故かまた行きたくなってしまう。そんな魅力があるように思います。

3年次生は受験生なので、なにかとストレスを抱えてしまっています。そんな私たちにとって、遠足は良いタイミングでのストレスフリータイムであり、クラスの仲間と共に過ごす貴重な時間となりました。このような機会を作っていただきありがとうございます！再び、このような超絶楽しい京都巡りができるように、まずは残りの高校生活を悔いなく過ごし、自らに磨きをかけて参ります！



## 林間学舎活動について 1年次会

7月22日より本校伝統行事である林間学舎活動が、奥飛騨温泉郷の「友学館」で2泊3日の日程で行われます。飯盒炊爨、上高地散策(または高山市街別研修)、キャンドルサービスなどを実施する予定です。また、これに先立ち、7月1日にはPTAの有志の方々に学舎清掃活動をしていただき、準備が整いました。ありがとうございました。

団	第1団	第2団	第3団	第4団	第5団
期間	7/22(土)~24(月)	7/24(月)~26(水)	7/26(水)~28(金)	7/28(金)~30(日)	7/30(日)~8/1(火)
クラス	7, 8組	4, 9組	1, 3組	2, 5組	6組
引率者	田中	大野	筑間	森智	服部
	藤澤	遠藤	柘植由	武藤	井上
	北川真	森有	今井	若岡	山崎
	高橋	岩井	田中	北川幸	

# 創立150周年記念野球大会

硬式野球部 部長 八代 周士

岐阜高校創立150周年記念事業の一環で、記念野球大会が5月21日、長良川球場に青山学院高等部を招いて開催されました。

今回、青山学院高等部を記念試合に招いたのは、両校のもつ歴史が関係します。岐阜高校硬式野球部の創部は岐阜中学時代の明治17年(1884年)、当時の図画教師平瀬作五郎が生徒に野球を教えたのが始まりとされています。

青山学院野球部は明治16年(1883年)に、青山学院の前身である東京英和学校で宣教師であったジェームス・ブラックレッジ先生が野球を教えたという記録があり、その年を創部としているそうです。

本校創立150周年という大きな節目にあたり、学校とともに歩んできた硬式野球部の歴史も岐阜県と全国の皆様にご紹介し、部員たちにも歴史を担う「使命感・責任感」を与えたいと思い、同じ「日本最古の野球部」である青山学院高等部に打診し、この対決が実現しました。

大会当日は晴天に恵まれ、多くの在校生、両校の卒業生に見守られる中での試合となりました。序盤は、相手投手の巧みな投球にかわされながらも、四回、岐阜高校伝統の「集中打」で4点を先制すると、五回、主将篠田の一打で3点を追加し、試合を優位に進めました。中盤以降、3点を返されるも、8対3で岐阜高校が勝利を収めました。閉会式では、青山学院渡辺健高等部長が「神宮球場でリベンジしたい」とあいさつされ、スタンドが大いに沸きました。そして、閉会式のあいさつを終えたとき、球場全体から大きな拍手が鳴り響き、自然と目頭が熱くなりました。

私自身、平成17年に岐阜高校を卒業し、岐阜高校創立130周年の際には、選手として記念試合を経験させていただきました。高校生の時にお世話になった恩を返したいと思い、岐阜県の教員となり、母校へ赴任してきたのが十年前、創立141年の年でした。母校での勤務を重ね、学生の時とは違う「歴史を引き継ぐ使命感」を感じ、負けぬよう走り続けた十年間でした。閉会式の拍手で目頭が熱くなったのも、この十年間、多くの卒業生の皆様に支えられ、守られてきたことを思い出しただけでなく、「まだまだ頑張れよ」という激励の拍手にも感じる事ができたからなのかもしれません。

目まぐるしく変わる時代の中でも、「変わる良さ」と「変わらない良さ」があるのが岐阜高校だと思っています。新しい時代を切り拓く人材を育むため「進化する岐阜高校」であり続けながらも、150年経っても変わらない「百折不撓・自強不息」の岐阜魂を次世代へと引き継ぐべく、母校の後輩たちと共に、更に精進して参ります。

最後になりましたが、テスト前の多忙な時期にお越しいただいた青山学院高等部の皆様、大会の開催に際してご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。



## 前期生徒会発足

前期生徒会長 前川 祥吾

前期生徒会として正式に活動し始めて2か月が経ちました。今年の岐阜高校は創立150周年記念の年でもあり、様々な行事が実施されています。先日行われた野球部の招待試合もそのひとつです。

さて、今、生徒会として力を入れているのは8月末から9月の初めに行われる岐阜高祭です。今年の5月からは新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、コロナ禍にはない活気の溢れた生活が戻っており、僕たちにとっては全く新しい岐阜高祭になります。本来の岐阜高祭はまだ経験したことがないので生徒会一同不安もありますが、様々な人の意見を取り入れながら成功に向けて取り組んでいきたいと思っています。

## 全国大会出場

囲碁将棋部 2年 石川 琴子

私たち囲碁将棋部は、全国囲碁選手権大会岐阜県大会で、個人、団体の部で男女ともに優勝を果たし、東京で開催される全国大会と、かごしま総文に出場します。

個人戦では、それぞれのブロックで持てる力を出し切ることができ、参加した全員が一勝以上することができました。一方、団体戦は三人で出場し、自分が負けてもチームとして勝つという場面も多く、団体の醍醐味を肌で感じる大会となりました。

部活の練習は部員同士の対局がほとんどで、今年の入部者が多く、和気あいあいとした雰囲気になっています。人によって戦い方はさまざまですが、普段からその多様な戦法に触れて楽しんで対局できるのが、今の私たちの強みだと思っています。対局する中で高め合い、全国大会では勝利を目指し思う存分楽しみたいです。



▲前期生徒会執行部 集合写真

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| 会計 (2年1組) | 会計 (2年1組) | 書記 (2年8組)  |
| 森 俊和      | 岩間 大輝     | 富永 実希      |
| 書記 (2年7組) | 会長 (3年7組) | 副会長 (2年2組) |
| 荒川 真衣     | 前川 祥吾     | 田中 怜       |

そのために先生方、文化委員、体育委員、そして全校の皆さんの力が必要不可欠です。ぜひ生徒会へのご協力をよろしくお願ひします。みんなで最高の岐阜高祭にしてくださいませよう！

運動系

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 硬式野球, 陸上競技, サッカー, バレーボール, バスケットボール, ソフトテニス, 水泳, 卓球, バドミントン, 柔道, 剣道, 軟式野球.

Table with columns: テニス, ハンドボール. Rows include: 県高校総体, 令和5年度 県総体地区予選, 令和5年度 県総体.

文化系

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 美術, 書道, 演劇, 音楽, 文芸, 茶華道, 自然科学班, 自然科物理班, 自然科学化学班, E S S, 調理学, 写真, 囲碁・将棋, 吹奏楽, クイズ研究, チアリーダー.

局

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 図書, 放送.